

## 検索 さらにもう一步

「ことば」について、事典・辞書類、各外国語辞書、叢書までの一括横断検索ができるデータベース「**ジャパンナレッジ Lib**」。実際に出版されている事典・辞書類が収録されています。

今回は**[基本検索]**、「ことば」の検索からもう一步広がる、3つの**Tips**を紹介します。

### コンテンツ

#### 3つのTips

- ① 検索のミニヒント
- ② さらに探索 [Knowledge Searcher]
- ③ [本棚]で読書

#### ① 検索のミニヒント

1. 基本検索では、調べたい「ことば」を入力して検索を始めますが、ここで検索窓左側のプルダウンで**[見出し]**と**[全文]**を選択することができます。  
ここでは「源頼朝」をキーワード例にして検索してみます。



【見出し】を選択すると、事典・辞書類の見出しや記事のタイトルが検索対象となり、ピンポイントな情報になります。検索結果は、38件です。

【全文】を選択すると、事典・辞書類、記事の本文が検索対象となり、キーワードと関連性を持った情報となります。検索結果は、3,025件です。

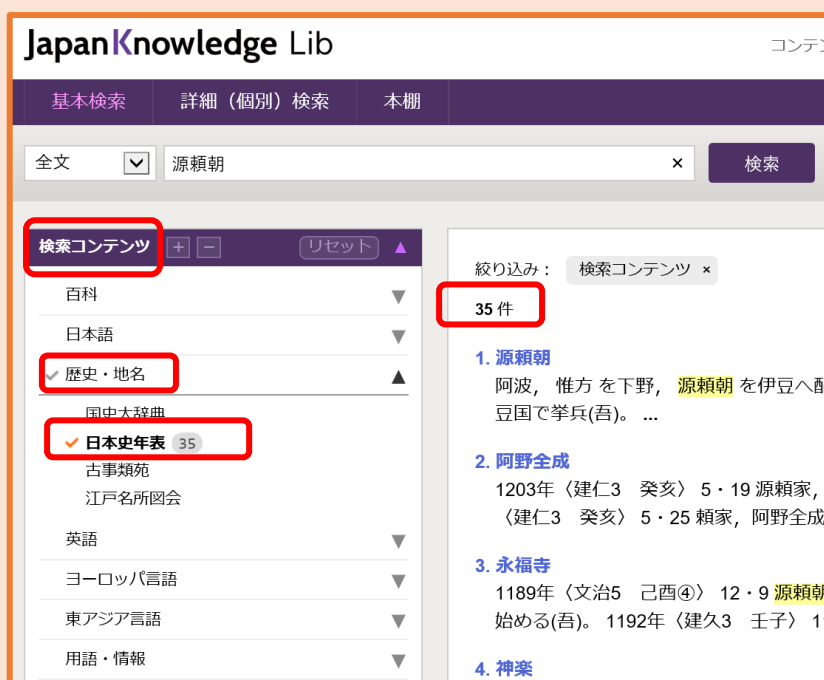


## 2. [全文] 検索の結果 3,025 件!?, 検索の範囲が広がったため、検索結果数も多く なります。この場合は、何について調べたいのかを整理して検索結果を絞り込みます。

例えば、歴史の観点から

調べたいのであれば、

[検索コンテンツ]、[歴史・地名] の  
プルダウンから [日本史年表] を  
チェックすると、35 件に絞り  
込めます。



## 3. 検索結果画面には、検索結果件数のほか、見出し、コンテンツ（収録資料）名、 スニペット（本文の一部）などが表示されます。



ここで [スニペット] をクリックすると、  
見出しとコンテンツ名がコンパクトに  
表示されます。[スニペット] の

[表示]・[非表示] の選択は、検索結果が  
多い場合に、キーワードと掲載資料名が  
一覧で見られる機能です。



## ② さらに探索 [Knowledge Searcher]

1. 検索結果の本文中にさらに調べたい「ことば・文字列」がでてくることがよくあります。そのような時には、[Knowledge Searcher] が便利です。同様に「源頼朝」をキーワード例にして検索を進めてみます。



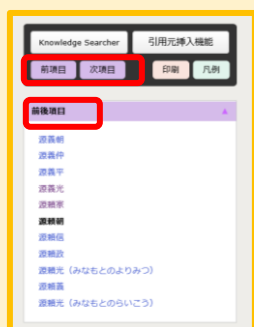
「源頼朝」の検索結果の一つを確認している時に「鎌倉幕府」も確認できます。

- 検索結果本文画面右上にある [Knowledge Searcher] をクリック後、「鎌倉幕府」をドラッグ・選択すると、[Knowledge Searcher] のウィンドウが開きます。



改めて検索窓に入力しなくても、本文内で検索することができる便利な機能です。

2. 事典・辞書類では [Knowledge Searcher] の下にある[前項目][次項目]を利用すると、キーワードの周辺情報検索が簡単にできます。



[前項目][次項目]をクリックすることで、前項目・次項目が表示されます。

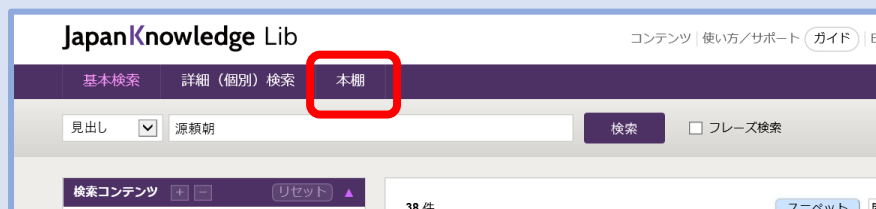
その下の[前後項目]には、前後項目が一覧表示されています。

紙の事典・辞書類をパラパラと引く感覚で利用してみてください。

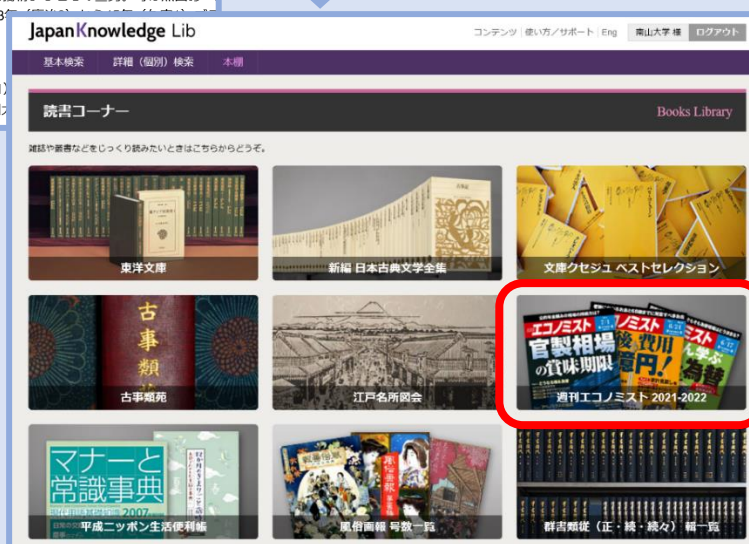
### ③ 【本棚】で読書

1. 「ジャパンナレッジ Lib」は、辞書機能のイメージが強いのですが、この[本棚]では、叢書や雑誌など、ページをめくるようにして、読んでいくことができます。

画面上部にある【本棚】のタブをクリックすると閲覧可能な本が表示されます。



読みたい本を選ぶと、それぞれの目録やジャンルなどが表示されます。そのうちの一つ、「週刊エコノミスト」では、テキスト化された記事だけではなく、PDFで掲載紙面を見ることができます。このマークが目印です。



さらにテキスト画面では、②の[Knowledge Searcher]機能が利用できます。

これは「文庫クセジュベストコレクション」、「平成ニッポン生活便利帳」でも利用できます。

本棚トップページから読みたい本を選び、目録やジャンル、目次から読みたい箇所へジャンプし、読み始めることができます。

そして、わからない「ことば」が出てきたら、[基本検索]や[Knowledge Searcher]を利用して疑問を解決してみてください。

それでは、データベースの中で検索を進めながら、「これ」という情報を見極め、是非みなさんの知識として定着させてください。

